



理研ビタミン株式会社

証券コード：4526



個人投資家様向け会社説明会

2022年3月9日



理研ビタミン株式会社
代表取締役社長 山木 一彦



わかめちゃん

1. 会社紹介

2. 理研ビタミンの歴史
3. 事業紹介
4. 未来に向けた取り組み
5. 財務状況
6. 株主還元

商号	理研ビタミン株式会社
設立	1949年（昭和24年）8月
資本金	25億3700万円
上場市場	東京証券取引所 市場第一部（証券コード：4526） ※2022年4月より「プライム市場」へ移行予定
代表者	代表取締役社長 山木 一彦
従業員数	960名（連結1,842名）（2021年9月30日現在）
事業内容	家庭用食品、業務用食品、加工食品用原料、食品用改良剤、 化成品用改良剤、ビタミン類などの製造・販売



よく知られている製品例



ノンオイルドレッシングとわかめの会社・・・？



- “ノンオイルドレッシング”というジャンルを定着させたパイオニア
- ノンオイルドレッシング **シェアNo.1!**
(※発売開始から30年以上トップを維持)



- 日本で初めてわかめの全国的な流通を開始
- 家庭用国産乾燥カットわかめ **シェアNo.1!**
(※発売開始から40年以上トップを維持)
- インスタントわかめスープ **シェアNo.1!**
(※発売開始から40年以上トップを維持)

・・・だけではない!

1. 会社紹介



2. 理研ビタミンの歴史

3. 事業紹介

4. 未来に向けた取り組み

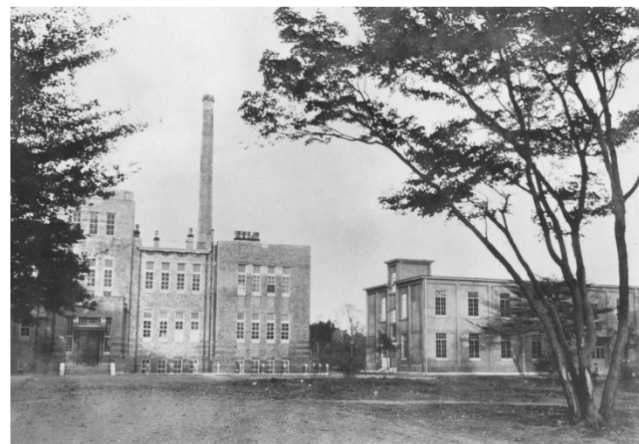
5. 財務状況

6. 株主還元

理化学研究所のビタミンA事業が原点



▲ビタミンA製品のポスター



▲理化学研究所 設立当時の写真（文京区駒込）



▲ビタミンA製品群

食品事業

社会に対し、食を通じて
健康と豊かな食生活を提供する

改良剤事業

ヘルスケア事業

理化学研究所の理念

天然物の有効利用を図る技術と商品で
人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する

ビタミンA事業からの転換・事業多角化

● 1949年 創立（当時の社名は理研ビタミン油株式会社）

1950年代

● 1959年 食品用乳化剤（モノグリセライド）の生産を開始
インスタントラーメン用スープの生産を開始



1960年代

● 1961年 医薬用マイクロカプセルの生産を開始
● 1965年 生わかめ「わかめちゃん®」を発売（わかめ事業に進出）
● 1969年 化成品用改良剤に進出



1970年代

● 1976年 ほたてエキスを開発
乾燥カットわかめ「ふえるわかめちゃん®」を発売



1980年代

● 1981年 「わかめスープ」を発売
● 1989年 「ノンオイルスープードレッシング 青じそ」を発売



海外展開・研究開発強化

1990年代

1991年 海外に進出（リケビタ・マレーシアを設立）
1999年 草加工場内にアプリケーションセンターを開設



2000年代

2000年 家庭用「素材力だし」を発売
2004年 米国にポークエキス工場
ガイモン・エクストラクトを設立



2010年代

2017年 理研食品・ゆりあげファクトリーを開設
2019年 アプリケーション&イノベーションセンター
を開設



2020年代

2021年 理研食品・陸前高田ベースを開設



ビタミンA事業で培った技術を応用

魚の肝臓から天然ビタミンAを生産



有効成分の「抽出・精製・濃縮技術」

食品事業

ドレッシング
海藻
エキス・調味料



改良剤事業

食品用改良剤
化成品用改良剤



ヘルスケア事業

医薬品用原料
機能性食品用原料



1. 会社紹介
2. 理研ビタミンの歴史



3. 事業紹介

4. 未来に向けた取り組み
5. 財務状況
6. 株主還元

一人暮らしの会社員Aさんの一日



<午前>

06:30	起床、身支度
07:00	【朝食】 シリアル、ミルク、 サラダ
08:30	入社、自販機でコーヒーを購入
09:00	仕事開始
↓	
12:00	同僚にお土産のお菓子をもらう 【昼食】 会社近くの中華料理屋へ



<午後>

13:00	仕事再開
↓	
17:30	退社
18:30	スーパーで買い物 ⇒野菜、お惣菜などを購入
19:30	【夕食】 白米、 味噌汁 、惣菜、 サラダ
23:00	就寝



さまざまな加工食品、トイレタリー製品に

<午前>

06:30

起床、**身支度**



改良剤

ハンドソープの泡立ちをよく
洗顔料に植物由来スクラブ



07:00

【朝食】

シリアル、ミルク、**サラダ**



ヘルスケア

ビタミンで
栄養強化



08:30

出社、自販機で**コーヒー**を購入



改良剤

コーヒーとミルクの
分離を防止

09:00

仕事開始



同僚にお土産の**お菓子**をもらう



改良剤

生地をふんわり



12:00

【昼食】

会社近くの**中華料理屋**へ



業務用商品

ラーメンスープの素など
各種調味料



自動車部品、ラップなどの樹脂製品にも

<午後>

13:00

仕事再開



営業車で取引先へ



17:30

退社



18:30

スーパーで買い物
⇒野菜、お惣菜などを購入

19:30

【夕食】
白米、味噌汁、惣菜、サラダ

23:00

就寝



改良剤

内装等に使う樹脂を加工しやすく



改良剤

ラップや容器の曇りを防止
(食材、お惣菜が綺麗に見える)



改良剤

衣をサクッと
中身をジューシーに



ヘルスケア

良質な眠りと目のピント調節を
Wでサポートする「クロセチン」(機能性表示食品)

BtoB (飲食店、給食、食品メーカー向け等) にも幅広く展開

ドレッシング

B to C



海藻

エキス ・調味料



B to B

- 飲食店向け
…家庭用でない味、大容量～小袋



- 学校給食向け
…アレルギーや減塩にも配慮



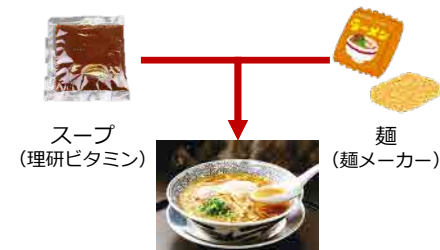
- 飲食店向け
…わかめの新しい食べ方提案、わかめ以外の海藻も



- 飲食店向け
…和・洋・中、液体・粉末など



- 食品メーカー向け



天然由来の改良剤で食品・化粧品メーカーの課題を解決

食品用改良剤



食感改良、老化防止

パンをふんわりとした食感に
時間が経っても硬くなりなく



ほぐれ性改善、酸化防止

麺をほぐれやすく
酸化を抑えて保存性向上



消泡、凝固調整

大豆を煮る際の泡を抑制
にがりで固まるスピードを調整



保水性向上、食感維持

肉汁をとじ込めジューシーに
衣のサクサク感を長持ち

化粧品用改良剤



防曇（ぼうどん）剤

食品用のラップや農業用ハウスの
フィルムが水滴で曇るのを防ぐ



可塑（かそ）剤

硬い樹脂を柔らかくし、
成型加工しやすく



帯電防止剤

静電気の発生を抑制し、埃の付着や
電子機器への影響を防ぐ



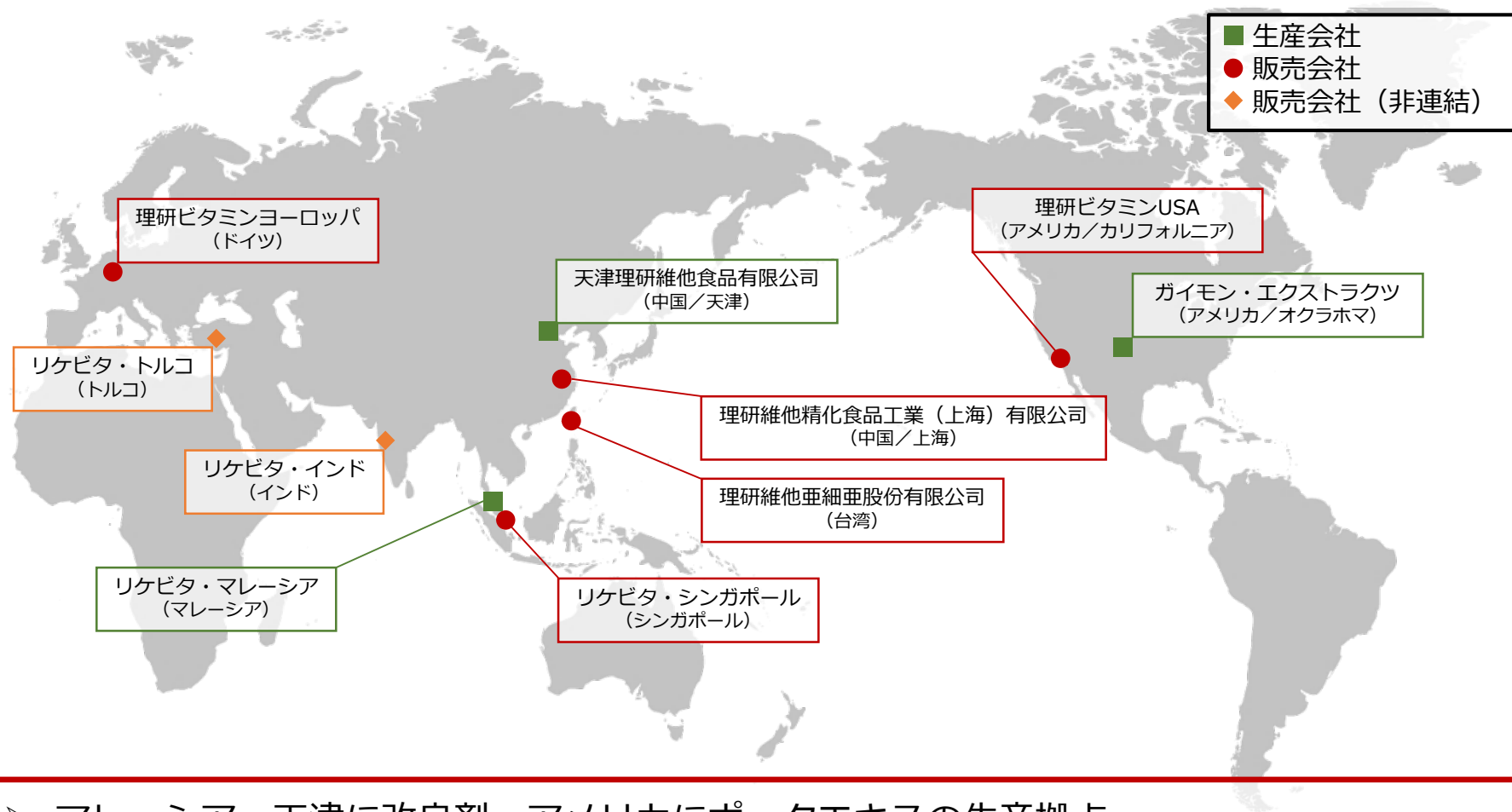
衛生用品向け

- ・消毒用アルコールの抗菌性補助
- ・ハンドソープの起泡
- ・洗顔料用スクラブ など

天然物の有効利用で健康と栄養に寄与



世界各国に食品用・化粧品用改良剤を販売



- マレーシア・天津に改良剤、アメリカにポークエキスの生産拠点
- 今後はアジア・北米地域を重点エリアとして販売を強化

実はBtoB事業の比率が大、関係先業界は多岐にわたる

海外事業
23%

海外改良剤



青島福生食品

※2022年3月期において連結から除外

国内化成品その他事業
8%



青島福生食品

5%

海外改良剤
18%

家庭用食品
18%

2021年3月期
連結売上高実績

777億円

業務用食品
23%

加工食品用原料等
28%

国内食品事業
69%

家庭用食品



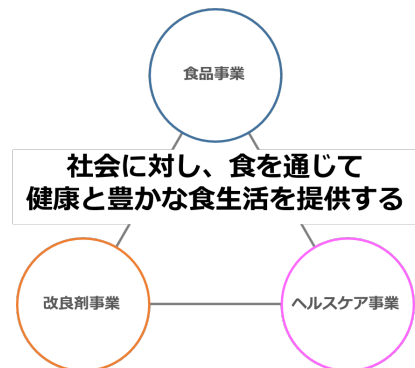
業務用食品



加工食品用原料等



見えないところで日々の暮らしに貢献



1. 会社紹介
2. 理研ビタミンの歴史
3. 事業紹介



4. 未来に向けた取り組み

5. 財務状況
6. 株主還元



しゅびょう

“種苗”の研究を通じてわかめ産業の課題を解決

■ 理研食品・ゆりあげファクトリー（宮城県名取市）



- わかめの種苗の生産や海藻の基礎研究を行う施設
- 種苗育成を施設内で行い安定供給を実現
- 優良株の選抜や育成条件の最適化を通じて海藻養殖産業の安定化と支援を行う



わかめの種苗▶

■ わかめ産業が抱える課題を解決

気候変動

高生長株の選抜 ➡ **収穫量アップ**

人手不足

(高齢化・後継者不足)

早生株・晩生株の選抜で収穫時期を分散 ➡ **労働負荷低減**

震災復興

わかめ製品の前処理加工 ➡ **雇用創出・地域振興**

・・・海藻の基礎研究で海藻産業全体の発展へ



2021年 海藻の陸上養殖事業に進出



■ 理研食品・陸前高田ベース（岩手県陸前高田市）



- 海藻の種苗生産～養殖～乾燥加工を一貫して行う施設
- 「スジアオノリ※」から着手し、他の海藻も順次検討

※スジアオノリ

「青のり」として販売される海藻の中でも色や香りが良く高級品とされる。たこ焼きやお好み焼き、ポテトチップスなどの用途で需要が高い



■ 解決すべき課題の多くがわかめと共通

気候変動

国内主要産地※に比べ海水温が低い東北で養殖
わかめの研究で培った種苗選抜等のノウハウ

➡ 安定生産

人手不足

(高齢化・後継者不足)

敷地内の水槽で養殖が完結 ➡ 労働負荷低減

震災復興

陸前高田沿岸部の土地を活用 ➡ 地域振興

※国内主要産地：四国など、西日本地域

食品ロス削減などに向けた研究開発も推進

■ アプリケーション&イノベーションセンター（A&Iセンター）



- 食品改良剤部門の研究開発拠点
- 各種加工食品メーカーと同等の試作設備
- 業界各社が抱える課題の解決を通じて社会貢献



▲海外拠点とも連携



▲試作風景



環境負荷の低減や食育活動にも注力

■ 2020年度 省エネ大賞 受賞（草加工場）



【受賞テーマ】

「食品工場における品質と省エネの両立に向けた聖域なき省エネ改革」

【受賞種別】

省エネ事例部門 経済産業大臣賞（CGO・企業等分野）

- 食品工場の“聖域”とも言える品質に関わるエネルギーに着目し社内の組織改革を通じて大幅な省エネ化を達成
- 最高賞にあたる経済産業大臣賞の受賞は食品メーカーでは初めて

■ わかめ学習出前授業



わかめ学習出前授業の様子

- 社内資格「わかめ学習認定講師」を取得した従業員が全国の小学校を訪問
- わかめの生態や栄養成分などについて説明



より詳しいCSR情報については当社のCSRレポートで紹介しています。

➤ URL : <https://www.rikenvitamin.jp/csr/library/report/>



1. 会社紹介
2. 理研ビタミンの歴史
3. 事業紹介
4. 未来に向けた取り組み

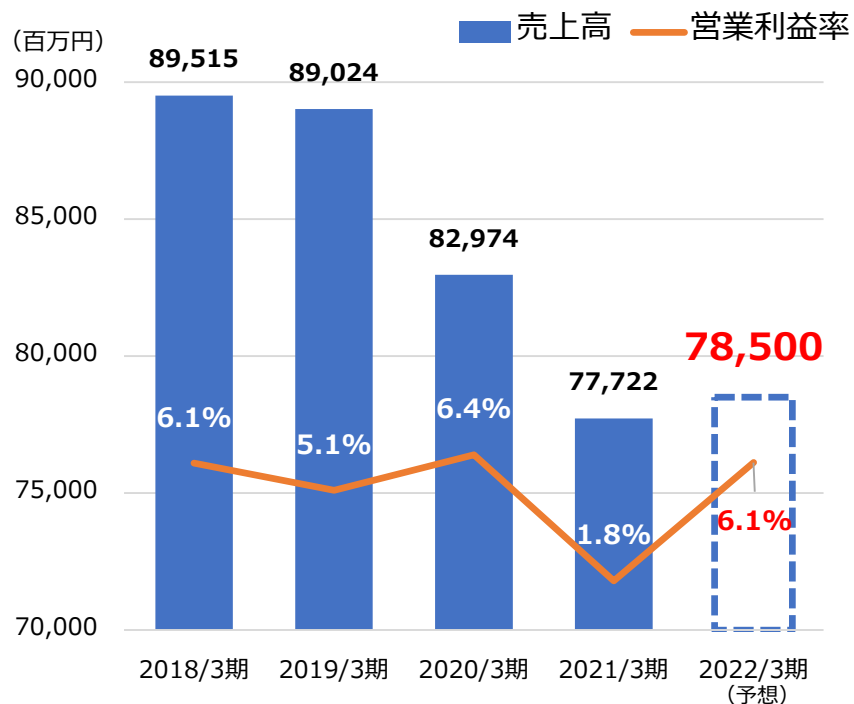


5. 財務状況

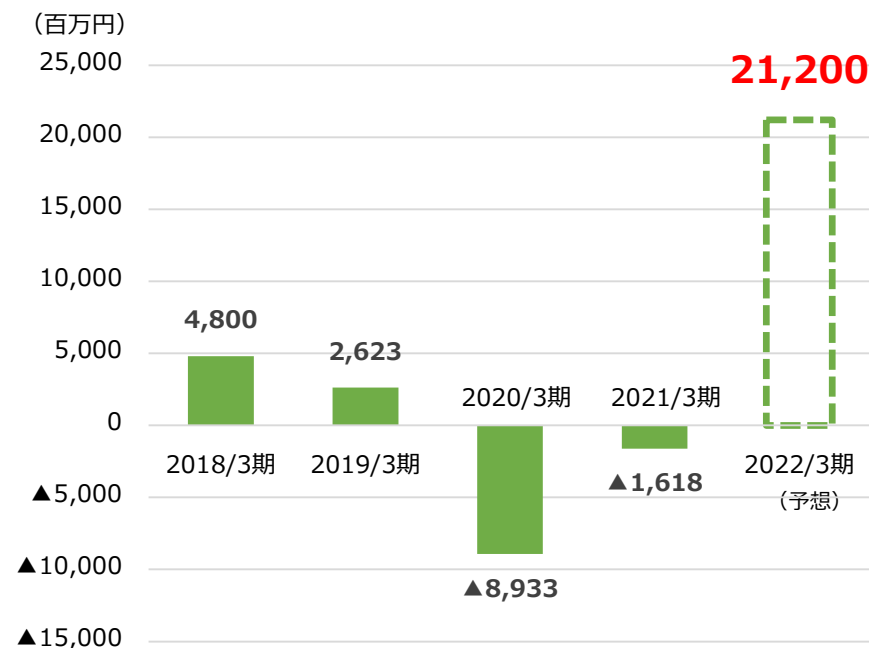
6. 株主還元

中国子会社関連の特別損失・特別利益により業績変動

■ 売上高・営業利益率



■ 親会社株主に帰属する当期純利益



- 2019年3月期～2021年3月期にかけ、中国子会社において実在性を確認するには至らなかった一部取引の売上高を取り消すとともに、多額の特別損失を計上
- 2021年6月に当該子会社を連結から除外し、特別利益（関係会社出資金売却益）120億円を計上

中国子会社の連結除外が各段階利益にプラス

■ 2022年2月10日発表予想

単位：百万円

	2021年3月期 通期	2022年3月期 通期予想	前期比※	
			増減額	増減率
売上高	77,722	78,500	+777	+0.1%
↳(連結除外事業を除く)	(73,802)	(78,100)	(+4,297)	(+5.8%)
営業利益	1,367	4,800	+3,432	+251.0%
↳(連結除外事業を除く)	(5,166)	(5,454)	(+288)	(+5.6%)
経常利益	1,652	5,000	+3,347	+202.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,618	21,200	+22,818	-
ROE	▲3.5%	37.2%		

※2022年3月期より会計基準を変更していますが、その影響は無視して表示しています

- ▶ 前期は中国子会社関連の営業赤字 (▲3,799) と特別損失 (▲1,596) が大きく影響
- ▶ 当該子会社の影響を除外すると、売上高・営業利益とも前期比5%台の伸長

第3四半期までの業績は堅調も、コスト増加が重荷

■ 2022年2月10日発表

単位：百万円

	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	前年同期比※	
			増減額	増減率
売上高	59,105	59,586	+481	+0.8%
↳(連結除外事業を除く)	(55,751)	(59,187)	(+3,435)	(+6.1%)
営業利益	749	4,550	+3,800	+506.8%
↳(連結除外事業を除く)	(3,911)	(5,205)	(+1,293)	(+33.1%)
経常利益	868	4,826	+3,957	+455.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,997	19,712	+21,709	-

※2022年3月期より会計基準を変更していますが、その影響は無視して表示しています

- 中国子会社の連結除外効果に加え、国内外で新型コロナウイルスの影響が緩和し業績が良化
- 第3四半期時点で各段階利益は通期予想の90%以上に達しているが、第4四半期は世界的な原料価格や運送費等の高騰の影響を強く受け、利益の伸びが著しく鈍化する見通し

中期経営計画（3カ年計画）は1年延期中

- 前中期経営計画（2018年3月期～2021年3月期）はすべての目標値が未達で終了
- 中国子会社での不適切な会計処理の発覚による業績の大幅な変動
- 新型コロナウイルス感染拡大による市場環境の先行き不透明感

2022年3月期は長期計画を練り上げる期間と位置付け
次期中期経営計画は2022年5月発表予定

※参考：前中期経営計画（2018年3月期～2021年3月期）

<テーマ>

- 国内事業：収益基盤のさらなる強化
- 海外事業：構造基盤の強化による成長エンジンの加速化
- 独自の技術力・開発力に磨きをかけ新領域に挑戦
- CSR経営の推進

	中計 当初目標	21/3期 実績
売上高	97,000	77,722
営業利益	8,000	1,367
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,400	▲1,618
R O E	8%	▲3.5%

1. 会社紹介
2. 当社の歴史
3. 事業紹介
4. 未来に向けた取り組み
5. 財務状況

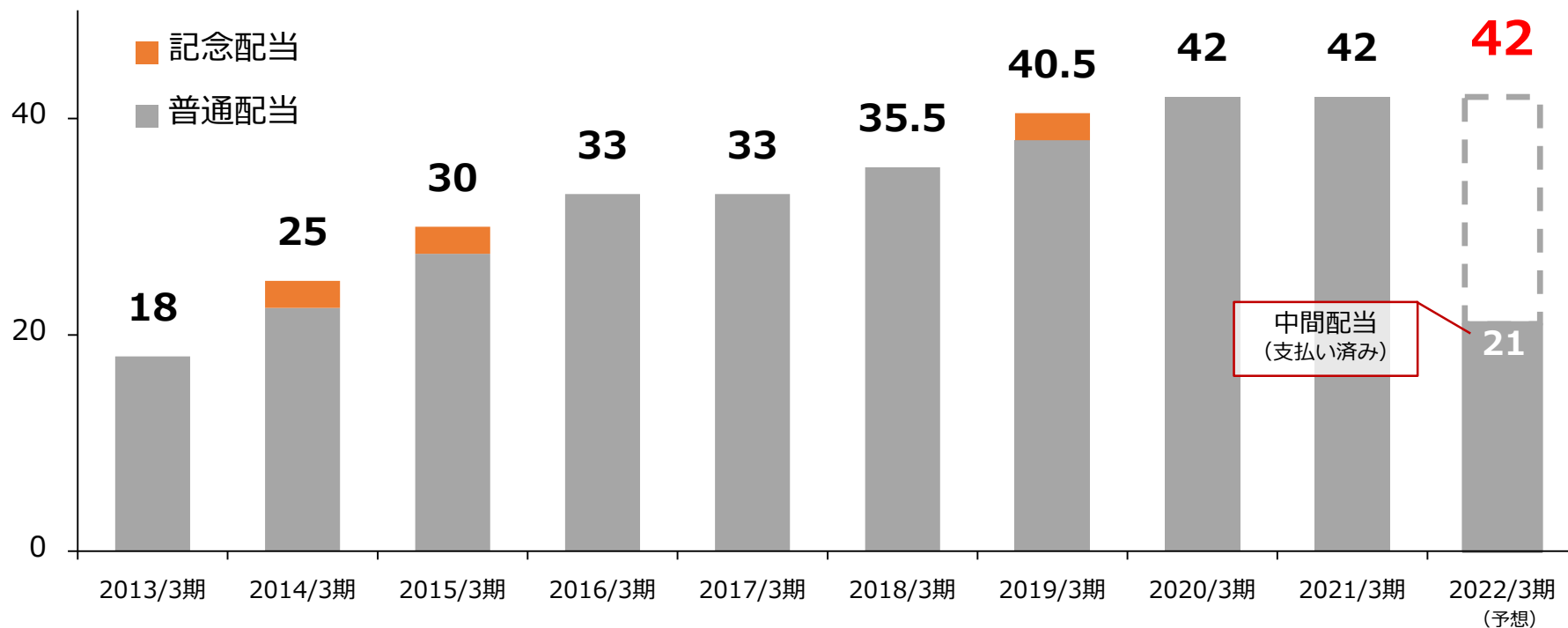


6. 株主還元

「長期的な視野に立った安定的な配当の実施」が基本方針

中国子会社の会計処理問題により業績に大きな変動はあったものの、当該子会社を除く当社グループの収益力は安定的なレベルを維持していることから配当の水準は維持

■ 1株当たり年間配当金(円)



※当社は2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
上記グラフ中の1株当たり年間配当金は、株式分割後の水準で記載しています。

保有株式数・保有期間に応じて自社商品を贈呈

■ 優待内容

- 年2回、基準日時点の株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまに自社商品を贈呈
- 保有株式数および保有期間に応じて株主優待品のランクがアップ

基準日	発送時期（予定）
3月31日	6月下旬
9月30日	11月下旬



2,000円相当の商品例（2021年11月発送）

■ 保有株式数・保有期間の基準

保有株式数	保有期間3年未満	保有期間3年以上※
100株以上、500株未満	1,000円相当	2,000円相当
500株以上、1,000株未満	2,000円相当	3,000円相当
1,000株以上、3,000株未満	3,000円相当	4,000円相当
3,000株以上	4,000円相当	5,000円相当

※毎年3月31日および9月30日の株主名簿に同一株主番号で7回以上連続して記載された株主さまが対象となります。

※保有期間中に証券口座の変更や貸株サービスを利用された場合は、株主番号が変更となる可能性があります。

子会社の会計処理をめぐる問題で大きく変動

■ 一日終値 (調整後※)



※当社は2020年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
上記グラフ中の株価は、株式分割後の水準で記載しています。

より詳しい情報は当社ホームページで

当社ホームページ内、「個人投資家の皆さまへ」のコーナー※において
当社のことをより深くご理解いただけるコンテンツをご紹介します。

本日の説明会で当社にご興味をお持ちいただけましたら、ぜひそちらもご覧ください。

※当社ホームページ > IR情報 > 個人投資家の皆さまへ
➤ URL : <https://www.rikenvitamin.jp/ir/privateinvestor/>



ご清聴ありがとうございました。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれます。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。

実際の業績などは今後の様々な条件・要素により、この計画などとは異なる場合があります、

この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部 広報・IR室 井上・清水

T E L : 03-5362-1315